

白樺医院だより

白樺医院からご近所の友の会のみなさまへのお便りです。診療所のご利用にお役立ててください。

2011年4月(春号)

春の友の会会員訪問はじめます

今年も安心カード お届けします！

やっと暖かくなってきました。今年も5月の中旬から地域の皆さんのご要望や、お困りごとをお伺いするため、ご近所の訪問をはじめます。訪問した際にはご協力お願いいたします。2年前からはじめた「安心カード」は、昨年までで150件近くの方に配布させていただきました。今年も引き続きお配りいたしますのでご利用ください。

訪問は友の会の世話人さんと看護師や薬剤師、ケアマネジャーなどの専門職がペアになって



安心カードは写真のように冷蔵庫や電話の近くに見やすいですね。

行います。十勝勤医協への要望や、医療や介護に関する事など、お気軽にご相談ください。

患者さんアンケートはじめました

白樺医院では、4月1日より来院患者さんのアンケート調査をおこなっています。みなさまからたくさんのご意見や要望をお伺いして、可能な限り、応えていきたいと思っています。来院の際はご協力お願いいたします。

待合い室で健康相談会を開催

3月25日、白樺友の会主催の健康相談会を開催しました。「施設と在宅介護サービス」について、居宅介護支援事業所白樺の宮田所長が講師となり、帯広市の介護保険の現状や、今後の「改定」などについてお話ししました。参加者からは、自らの将来の不安やご家族の相談が多数寄せられました。規制緩和による今の介護制度の現状に様々な怒りの声も出されました。

待合い室を利用しませんか？

白樺医院は午前診療のみのため、午後の時間帯での待合室の有効利用を検討しています。各種会合や学習会、サークル活動で利用可能です(無料です)。白樺医院までご相談ください。



東日本大震災 被災者 救援募金にご協力ください



十勝勤医協からも医師や看護師が交替で支援に入っています。被災者の方々の生活支援のため、是非ご協力をお願いいたします。

白樺医院の本棚

「岩盤を穿つ」

この本は湯浅誠氏のこれまで発表した文章がまとめられた一冊です。「穿つ」が「つ」とは穴を開けるとか突き通すという意味です。比較的堅いものに穴を開けるというイメージですね。まさに著者の活動そのものだと感じます。

著者の湯浅誠氏は、特定非営利法人「ちやい」の事務局長をされています。数年前に年越し派遣村で一躍有名になりましたが、以前から路上生活者の方の支援活動や貧困問題での提言などを発信し続けている「活動家」です。自己責任論がまかり通る中で、貧困とは自己責任か？と問います。貧困状態とは、さまざまな選択肢が狭まる状態を差し、その状態に追いやられる課程で自己責任論の前提が切り崩されるとする論調はなんだか気持ちが悪いです。



本お貸しします。お持ち帰りになるときは一声おかけください。